



2026 年 10 月 22 日

各 位

会 社 名 : 株 式 会 社 ト ー カ イ
代 表 者 名 : 代 表 取 締 役 社 長 浅 井 利 明
(コード番号 : 9729 東 証 プ ラ イ ム)
問 合 せ 先 : 執 行 役 員 財 務 ・ 企 画 本 部 長 和 田 克
(電話番号 : 058 - 263 - 5111)

業績予想及び配当予想の修正に関するお知らせ

当社は、2026 年 10 月 22 日開催の取締役会において、最近の業績動向等を踏まえ、2026 年 5 月 12 日に公表した 2027 年 3 月期通期連結業績予想及び配当予想を下記の通り修正いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 連結業績予想の修正

(1) 2027 年 3 月期通期連結業績予想数値の修正 (2026 年 4 月 1 日～2027 年 3 月 31 日)

	売上高	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 当期純利益	1 株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想 (A)	165,400	8,985	9,437	6,117	198.08
今回修正予想 (B)	167,980	10,286	10,716	6,866	222.25
増 減 額 (B－A)	2,580	1,301	1,278	748	—
増 減 率 (%)	1.6	14.5	13.5	12.2	—
(参考) 前期実績 (2026 年 3 月期)	159,664	9,382	10,098	6,069	185.61

(2) 業績予想修正の理由

2027 年 3 月期中間連結会計期間について、調剤薬局事業における処方箋単価が薬剤料・技術料ともに計画を上回って推移していることや、シルバー事業におけるレンタル資材の効率的な運用の取り組み効果が前期から継続していることなどから、特に利益面で好調に推移しております。

2027 年 3 月期第 3 四半期以降についても、調剤薬局事業における上期の好調さの継続が想定されること、また、2026 年 7 月にグループ化した QLC プロデュース株式会社の業績を第 3 四半期より連結業績に取り込むことを踏まえ、通期連結業績は売上高及びすべての段階利益について当初の予想を上回る見込みです。これにより、前回発表予想において、前期比減益を見込んでいた営業利益及び経常利益は増益となり、親会社株主に帰属する当期純利益を含めいずれも過去最高の水準となる見込みであります。

なお、今回の業績予想修正により、中期経営計画の最終年度 (2028 年 3 月期) に掲げる連結営業利益 95 億円の目標は 1 年前倒しで達成する見通しとなりました。最終年度においても、引き続き各事業において収益性向上に取り組み、利益最大化に努めてまいります。その具体的な数値については今後のマクロ動向や事業進捗を精査したうえで、公表することを予定しております。

(注) 上記の予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は今後の様々な要因によって予想数値と異なる場合があります。

2. 配当予想の修正

(1) 修正の内容

	1株当たり配当金		
	第2四半期末	期末	年間
前 回 予 想	円 銭 40.00	円 銭 40.00	円 銭 80.00
今 回 修 正 予 想	40.00	49.00	89.00
前 期 実 績 (2026年3月期)	34.00	34.00	68.00

(2) 修正の理由

当社グループは、株主の皆様への利益還元を重要な経営課題の一つと位置づけており、2026年5月12日には、配当政策の基本方針として、配当性向の目安を35%から40%に引き上げるとともに、1株あたり配当額の維持または増配を基本とする「累進配当」の導入を発表いたしました。

この基本方針に則り、今回の業績予想の修正を踏まえた2027年3月期の期末配当金は、従来予想より1株当たり9円増配し、49円に修正させていただきます。

なお、中間配当は2026年11月開催予定の取締役会にて、期末配当は2027年6月開催予定の第72回定時株主総会にて、それぞれ付議する予定であります。

以 上